

慈明院寺報四月号

法事の功德

今年（ことし）は父の七回忌である。去る三月七日（日曜日）に



親族のみで静かに法事を営んだ。また五月には二十三回忌を迎える祖父・慈水の命日も控えていたので、併せて二人の法事を執り行なった。

この年忌の法事は、古い中国の習慣が起源とされている。『十王経』という經典に、人間は死んだ後に十人の裁判官によって生前の罪を裁かれ、六道（地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天）のいずれかの世界に生まれかわると伝えられている。この十王の裁判にあたって亡くなった人が少しでも、安楽な世界に導かれるように仏様に祈るのが、年忌の法事の意味である。

年忌の法事を執り行うのは、亡くなった方の『冥福』すなわち冥界での幸福を祈るためにこれを行うが、法事を営んだ遺族にも『預修』という功德が積まれて生前の罪が軽くなるとも、十王経は教えている。

最近（さいきん）はコロナの影響で、会食や寄り合いが制限される事が多い。そんな中父の法事に来てくれた叔母がこんな事を言っていた。「仏様がみんなと会わせてくれようっちゃないかねー。」その通りだと思った。葬儀や法事は親族や縁のある人々の集いに違いない。縁ある人と会えるのが法事の功德だと感じた。

父と祖父の法事のおかげで、いとこ夫婦やいとこ姪にも会う事ができた。今年三才になるとこの娘さんは、最初は大泣きしていたが、慣れてくるとお母さんと一緒に無邪気に遊んでいた。帰り際に叔母がつぶやいた。「仏さんはどっかで見よんしやあかね？」きつと見ている。姪はこんなに可愛いのだもの。

住職 合掌

春のお彼岸参りについて

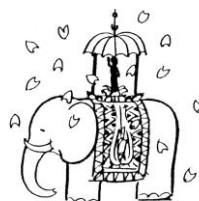
本年は通常通り、三月十七日より春のお彼岸参りをお勤めさせて頂きます。各檀家様には、すでに「お彼岸参り」のお知らせを送付させて頂いております。お忙しい時期とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

随時、お参りについてのお問い合わせ、変更など承ります。 住職 九拝

花まつり 自由参拝のご案内

令和三年 四月一日（木）～ 四月八日（木）

朝九時～夕方五時位迄



花御堂に誕生仏（お釈迦様）を安置して、甘茶をそそいでご供養致します。甘茶、お楽しみ袋（お菓子詰め合わせ）をお接待致します。花御堂のお釈迦様は大師堂に安置しております。大師堂へお参り下さい。どうぞ

お誘い合わせの上、お参り下さいませ。（別紙参照）

住職の独り言

姪のこころちゃんが保育園を卒業した。春から小学生である。六年前に父は生まれたばかりの姪を抱いて「ランドセル買ってやらないかん。」と先走っていたが……。月日の流れは本当に早い、光陰矢の如し。

慈明院（〒八一一一 一三二 福岡市早良区大字西二三四一 二〇）

TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四